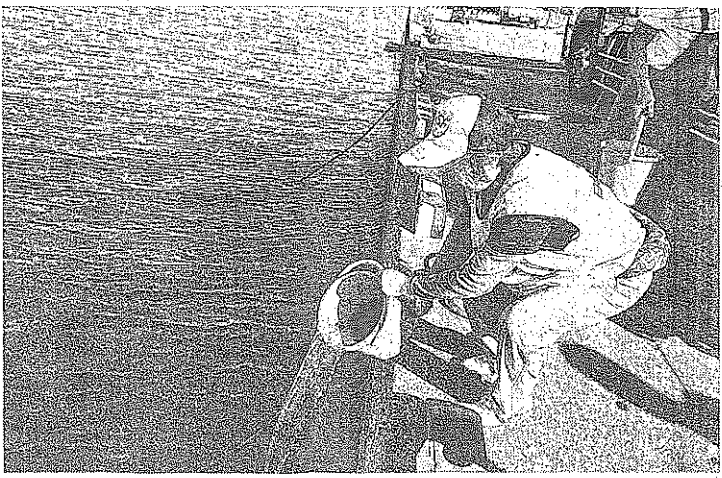
日釣振
神奈川支部

カワハギ稚魚を放流
横須賀・長井新宿港で



人気の高いカワハギの稚魚3000尾を放流

（公財）日本釣振興会　神奈川県支部（山口充支部長）は10月11日（日）、カワハギ稚魚放流事業を横須賀市の長井新宿港で実施した。

（公財）神奈川県栽培漁業協会から調達した稚魚は体長60㎜前後。山口支部長や兼松美紀副支部長、事務局に加え、事務局を置く㈱ヤマリア関係者らが手分けをして3000尾を放流した。



放流に参加した関係者



稚魚は体長60㎜前後

同社社員は親子で参加し、子どもがライフジャケットを着用して放流を体験。バケツの中で元気に泳ぎ回る稚魚たちを丁寧に手にとり、「元気に育ってね」「大きくなってまた会おう！」と願いを込めながら、そっと長井の海へと送り出した。

同支部の中川陽介事務長は、「神奈川県支部では、これからも豊かな海の生態系を守り、誰もがいつまでも釣りを楽しめる環境を残すため、このような放流活動を継続してまいります」としている。